

ぼくがんばるから

さく ふじたてつろう



sample



春くんと花ちゃんは、にこにこ保育園の花だんで、お花に水をあげていました。

「春くん、もっとちゃんとお水をあげないとお花がかわいそう」

「ごめんね花ちゃん、ぼくがんばるから」



二人の家はとなりどうし、物心ついたときから仲良しでした。

保育園に行くときも、保育園にいるときも、保育園から帰って遊ぶときも、

いつもいっしょでした。



花ちゃんは、
「わたしの花という名前はね、お花が大好きで、お花を大切に作るやさしい人になっ
てほしいと願って、お父さんとお母さんがつけてくれたの」
お花に水をあげながら、春くんにいいました。



春くんはお家に帰るとすぐに、
「お母さん、ぼくの名前どうして春とつけたの」とお母さんに聞きました。
お母さんはにこにこしながらいいました。





「さむい冬が終わって、あたたかい春がきて、たくさんの草花、
たくさんの生きものたちを目ざめさせる、そんなあたたかなやさしい人にと
願って、お父さんとお母さんでつけたの、春にはまだむずかしかったかな」
とお母さんがいうと、
「ありがとう、なんとなくだけどわかる気がする」
春くんはうれしそうにいました。



ためしよみ

は

ここまでです